⑹　農学部食料・応用生命科学科棟実験研究室
・資産の用途：教育研究施設
・資産の種類：建物
・資産の場所：長野県上伊那郡南箕輪村8304
・帳簿価額等の概要：　3,316千円
・減損の認識に至った経緯：
　当該施設は耐震性能が低く老朽化が著しかったため、耐震補強及び機能改善整備を行った。これに伴い、建物附属設備を撤去することとなったため、減損を認識し、当事業年度中に除却した。
・減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の内訳：
　損益計算書に計上した金額　０円
　損益計算書に計上していない金額　3,316千円
・回収可能サービス価額の算定方法：
　正味売却価額を採用し、市場性がないため、正味売却価額は０円として算定した。
⑺　蟻ヶ崎寄宿舎（こまくさ寮）
・資産の用途：学生寄宿舎
・資産の種類：建物
・資産の場所：長野県松本市蟻ヶ崎六丁目24番１号
・帳簿価額等の概要：　7,794千円
・減損の認識に至った経緯：
　当該寄宿舎は老朽化が顕著であったことから、寮生の生活環境の改善のため、改修工事を行った。これに伴い、建物附属設備の一部を撤去することとなったため、減損を認識し、当事業年度中に除却した。
・減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の内訳：
　損益計算書に計上した金額　０円
　損益計算書に計上していない金額　7,794千円
・回収可能サービス価額の算定方法：
　正味売却価格を採用し、市場性がないため、正味売却価格は０円として算定した。
⑻　工学部土木工学科棟
・資産の用途：教育研究施設
・資産の種類：建物
・資産の場所：長野県長野市若里四丁目17番１号
・帳簿価額等の概要：　7,769千円
・減損の認識に至った経緯：
　当該施設は耐震性能が低く老朽化が著しかったため、耐震補強及び機能改善整備を行った。これに伴い、建物附属設備を撤去することとなったため、減損を認識し、当事業年度中に除却した。
・減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の内訳：
　損益計算書に計上した金額　０円
　損益計算書に計上していない金額　7,769千円
・回収可能サービス価額の算定方法：
　正味売却価額を採用し、市場性がないため、正味売却価額は０円として算定した。
⑼　医学部附属病院管理及び診療棟
・資産の用途：診療施設
・資産の種類：建物
・資産の場所：長野県松本市旭三丁目１番１号
・帳簿価額等の概要：　6,814千円
・減損の認識に至った経緯：
　当該施設は耐震性能が低く老朽・狭隘化が著しかったことから、これらの改善を図るとともに、先端医療外来棟として整備し、医療の拡充を図るため、耐震補強及び機能改修を行った。これに伴い、建物附属設備を撤去することとなったため、減損を認識し、当事業年度中に除却した。
・減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の内訳：
　損益計算書に計上した金額　０円
　損益計算書に計上していない金額　6,814千円（自己収入を財源として取得した資産に係る「損外減損損失累計額」6,727千円は、当該資産除却時に「固定資産除却損」に振り替えている。）
・回収可能サービス価額の算定方法：
　正味売却価額を採用し、市場性がないため、正味売却価額は０円として算定した。
⑽　松本キャンパス屋外運動場（第一運動場）
・資産の用途：屋外運動場
・資産の種類：構築物
・資産の場所：長野県松本市旭二丁目619番２
・帳簿価額等の概要：　7,407千円
・減損の認識に至った経緯：
　当該運動場設置の構築物（テニスコート、フィールド設備等）の老朽化により、運動場の整備を行った。これに伴い、既存構築物を撤去することとなったため、減損を認識し、当事業年度中に除却した。
・減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の内訳：
　損益計算書に計上した金額　０円
　損益計算書に計上していない金額　7,407千円
・回収可能サービス価額の算定方法：
　正味売却価額を採用し、市場性がないため、正味売却価額は０円として算定した。
⑾　繊維学部ＲＩ実験室
・資産の用途：教育研究施設
・資産の種類：建物
・資産の場所：長野県上田市常田三丁目15番１号
・帳簿価額等の概要：　6,683千円
・減損の認識に至った経緯：
　当該施設を遺伝子実験施設に統合し、また、当該施設設置敷地をファイバーインキュベーション・インキュベーター施設の前面広場として整備を行った。これに伴い、当該建物を取り壊すこととなったため、減損を認識し、当事業年度中に除却した。
・減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の内訳：
　損益計算書に計上した金額　０円
　損益計算書に計上していない金額　6,683千円
・回収可能サービス価額の算定方法：
　正味売却価額を採用し、市場性がないため、正味売却価額は０円として算定した。

５．キャッシュ・フロー計算書関係
⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金勘定	9,791,536千円
定期預金	3,500,000千円
資金期末残高	6,291,536千円

⑵　重要な非資金取引

①ファイナンス・リースによる資産の取得	775,515千円
②現物寄付による資産の取得	315,630千円